

“その人らしさ”ってなんだろう？
第 7 回 TURN ミーティング 開催
平成 31 年 2 月 2 日(土) 手話通訳・文字支援付き

平成 30 年 12 月 27 日
アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



平成 30 年 10 月 27 日 (土) に開催した第 6 回 TURN ミーティング 撮影：大野隆介

～多様性のある社会について考える～

アートプロジェクト「TURN」の可能性について考え、語りあう「TURN ミーティング」。

第 7 回目となる今回は、異なる分野で活動する方々をゲストにお迎えし、さまざまな日常や価値観からみえてくる「その人らしさ」や「多様性のある社会」について語り合います！

トークの合間にお届けするよるクラリネット演奏とともに、ぜひお楽しみください。

■開催概要

- ・タイトル: 第 7 回 TURN ミーティング
- ・日時: 平成 31 (2019) 年 2 月 2 日 (土) 14:30~17:00 (開場 14:00)
- ・会場: 東京都美術館 講堂 (東京都台東区上野公園 8-36)
- ・入場料: 無料 ※手話通訳・文字支援付き
- ・定員: 200 名 ※要事前申し込み/先着順 (申し込み方法は 3 頁に記載)
- ・登壇者: ロバート キャンベル (日本文学研究者、国文学研究資料館長)
牧原依里 (聾の鳥プロダクション代表、映画作家)
日比野克彦 (TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
- ・モデレーター: 渡辺祐 (エディター・ライター、J-WAVE『Radio DONUTS』ナビゲーター)
- ・演奏: 島田明日香 (クラリネット奏者)
- ・主催: 東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学

■当日のスケジュール

14:00	開場、受付
14:30	開会
14:40～15:00	TURN プロジェクト紹介
15:00～16:50	【鼎談】 ロバート キャンベル(日本文学研究者、国文学研究資料館長) 牧原依里(聾の鳥プロダクション代表、映画作家) 日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授) モデレーター: 渡辺祐 (エディター・ライター、J-WAVE『Radio DONUTS』ナビゲーター)
16:50～17:00	閉会の挨拶

※プログラムの合間に島田明日香さんによる演奏を予定しています。

■ゲスト



ロバート キャンベル

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。テレビでMCやニュース・コメンテーター等をつとめる一方、新聞雑誌連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍中。

【主な編著】『東京百年物語』(岩波文庫)、『ロバートキャンベルの小説家神髓現代作家6人との対話』(NHK出版)、『Jブンガク英語で出会い、日本語を味わう名作50』(東京大学出版会)、他。



牧原依里(まきはらえり)

聾の鳥プロダクション代表・映画作家。ろう者。

ろう者の“音楽”をテーマにしたアート・ドキュメンタリー映画『LISTEN リッスン』(2016)を雫境(DAKEI)と共同監督、第20回文化庁メディア芸術祭アート部門 審査員推薦作品、第71回毎日映画コンクール ドキュメンタリー映画賞ノミネート等。2017年には東京国際ろう映画祭を立ち上げ、ろう・難聴当事者の人材育成と、ろう者と聴者が集う場のコミュニティづくりに努めている。今年は劇場公開の映画『ヴァンサンへの手紙』の配給・宣伝を担う。

■モデレーター



渡辺祐(わたなべたすく)

エディター／ライター

1959年神奈川県出身。編集プロダクション、ドゥ・ザ・モンキー代表。80年代に雑誌「宝島」編集部を経て独立。以後、フリーランスの編集者／ライターとして活動。またテレビ「タモリ倶楽部」などにも出演、FM局 J-WAVE の土曜午前の番組『Radio DONUTS』ではナビゲーターも務めている。音楽、カルチャー全般を中心に、落語、食、酒など守備範囲は幅広い。自称「街の陽気な編集者」。

■演奏



島田明日香(しまだあすか)

クラリネット奏者

岡山県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

中国ユース音楽コンクール木管楽器の部1位受賞。東京藝大フィルハーモニアとモーニングコンサートでソリストとして共演。これまでにクラリネットを芦田修二、小倉清澄、藤井一男、村井祐児、磯部周平、山本正治、十亀正司の各氏に師事。室内楽を守山光三、小畑善昭の各氏に師事。

「TURN フェス4」(2018)にパフォーマーとして参加した。

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

■申し込み方法

EメールまたはFAXにて、件名を「第7回 TURN ミーティング」とし、本文に①氏名(よみがな)、②電話番号、③参加人数をご記入の上、下記までお申し込みください。

- ・Eメール application@turn-project.com
- ・FAX 03-4243-2141(10:00～17:15 土日祝日を除く)
- ・申し込み締切:1月28日(月)

※お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業に関する業務以外の目的では使用いたしません。

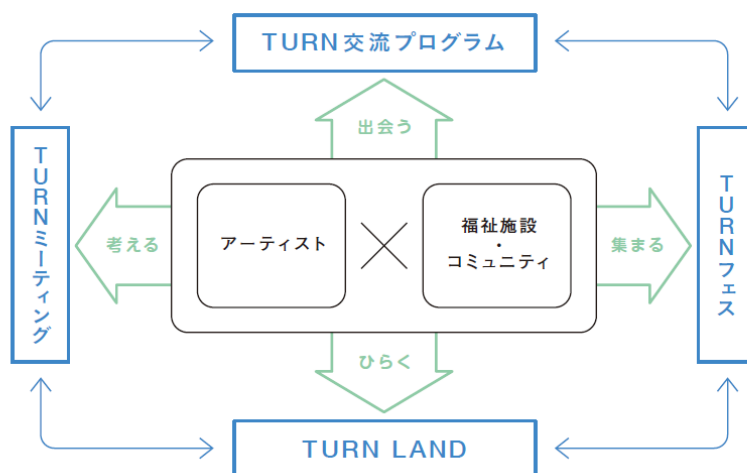
※申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

※平成31年1月7日(月)より、お申し込み受付後3営業日以内に、メールまたはFAXで予約完了のご連絡を差し上げます。

【TURNとは】

TURNとは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。平成27(2015)年、東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都のリーディングプロジェクトの一つとして始動した後、平成29(2017)年度より、東京2020公認文化オリンピアードとして実施しています。

アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN 交流プログラム」と、TURNの活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURN ミーティング」と「TURN フェス」の開催によって広くその意義を発信します。



■TURN を創り出す 4 つのプログラム

TURN 交流プログラム

アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティが出会い、相互に関係しあう時間を重ねる共働活動です。また、社会や日常で表面化されていないことへの探求を目的としたアーティストによるリサーチも行います。



TURN LAND

福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに参加型のプログラムを企画します。場所のもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURN を日常的に実践する場をつくります。



TURN フェス

TURN 交流プログラムや TURN LAND を実施する多様なアーティストや交流先の活動が一堂に会するフェスティバル。作品展示やワークショップ、トークイベント、オリジナルプログラム等を通して、TURN を体感します。



TURN ミーティング

TURN の可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先などの関係者とともに、各分野で活躍するスペシャルゲストを招き、様々な視点から TURN を考察します。



- ・監 修: 日比野克彦(アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
- ・プロジェクトディレクター: 森 司(アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長)
- ・コーディネーター: 奥山理子(アーツカウンシル東京、東京藝術大学特任研究員、みずのき美術館キュレーター)

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。また、2020 年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。 <http://www.artscouncil-tokyo.jp>



<本リリースに関するお問い合わせ>

アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 広報担当: 糸園、圓城寺

TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp